

大項目	中項目	小項目
12. 正常な産褥経過からの逸脱およびハイリスク状態にある褥婦のアセスメントと援助	A. 身体的ハイリスク因子のアセスメント	a. 全身状態・バイタルサイン
		b. 妊娠・分娩歴、産科病歴
		c. 分娩経過
		d. 生殖器の状態
		e. 母体の合併症
		f. 日常生活の状況
	B. 心理社会的ハイリスク因子のアセスメント	a. 年齢
		b. 経済状態
		c. 婚姻形態
		d. 家族関係
		e. 文化的背景
	C. 不快症状の緩和へのケア	a. 後陣痛の緩和
		b. 会陰部疼痛の緩和
		c. 脱肛・痔核への対処法
		d. 排尿障害への対処法
	D. 産褥期の異常と合併症の予防	a. 産褥早期出血
		b. 産褥晚期出血
		c. 子宮復古不全
		d. 産褥熱
		e. 恥骨結合離開
		f. 静脈瘤および血栓性静脈炎
		g. 深部静脈血栓症・肺塞栓症
		h. 感染症
		i. 妊娠高血圧症候群後遺症
		j. 乳頭損傷
		k. 乳腺炎
	E. 心理的異常をもつ褥婦のケア	a. 産褥期精神障害
	F. 特殊な状況にある褥婦へのケア	a. 帝王切開術による出産
		b. 多胎出産
		c. 文化的背景の異なる褥婦
d. 不妊治療後の出産		
e. 低出生体重児の出産		
f. 流産、早産、死産		

大項目	中項目	小項目	
		g. 障害をもつ児	
		h. 予後不良児	
13. 合併症を持つ妊産褥婦のアセスメントとケア	A. 周産期の合併症	a. 心疾患	
		b. 腎疾患	
		c. 甲状腺疾患	
		d. 糖尿病	
		e. 子宮奇形・子宮筋腫	
		f. 感染症	
		g. 精神疾患	
		h. アレルギー性疾患	
14. 新生児の診断	A. 新生児の観察技術と検査	a. 身体計測	
		b. バイタルサインの測定	
		c. 黄疸の観察法	
		d. 聴覚検査	
		e. 先天性代謝異常検査	
	B. 出生後 24 時間以内の経過診断	a. 胎内環境と新生児への影響の評価	
		b. 成熟度の判定 (Dubowitz 法)	
		c. 胎外環境への適応状態	
		d. 意識レベル (state)	
	C. 24 時間以降の早期新生児期の経過診断	a. 胎外環境への適応状態	
		b. 分娩侵襲からの回復	
		c. 栄養摂取	
		d. 消化と排泄	
		e. 生理的体重減少	
		f. 黄疸	
		g. 原始反射	
		h. 臍帯出血、臍帯の脱落	
	15. 正常新生児への援助	A. 出生後 24 時間以内のケア	a. 胎外環境への適応の促進
			b. 母児の接触
			c. 感染予防
d. 哺乳			
B. 24 時間以降早期新生児期のケア		a. 新生児期の栄養と授乳	
		b. 保温と環境温度の調整	
		c. 保清	

大項目	中項目	小項目
		d. 感染予防
	C. 母子・親子関係を促進するケア	
16. 正常な新生児経過からの逸脱およびハイリスク状態にある新生児のアセスメントとケア	A. ハイリスク因子のアセスメント	a. 妊娠・分娩経過
		b. 母体の合併症
		c. 胎児の発育状態
		d. 呼吸障害
		e. 循環状態
		f. 嘔吐・腹部膨満
		g. 緊張・けいれん
		h. 黄疸
		i. 感染
		j. 外表奇形
		k. 臍出血
	l. 分娩外傷	
	B. 援助の基本	a. 正常逸脱のリスクの予測
		b. 正常逸脱の予防
		c. 正常逸脱の早期発見
		d. 母子関係確立への援助
		e. 授乳への援助
		f. 退院後の生活に向けた調整と援助
	C. 低出生体重児のケア	a. 体温管理と体温調節のケア
		b. 呼吸管理
		c. 皮膚のケア
		d. 水分・電解質管理
		e. 栄養管理と授乳
		f. 感染予防
		g. 家族支援
	D. 治療を受ける新生児のケア	a. 呼吸障害のケア
		b. 光線療法に伴うケア
		c. 経管栄養法のケア
		d. 輸液管理とケア
		e. 手術を受ける児と家族のケア
	E. 家族へのケア	a. 他機関、他職種との連携

大項目	中項目	小項目
		b. 社会資源の活用
		c. 親への心理的援助
		d. 児への愛着形成
17. 乳幼児の健康診査	A. 乳幼児の健康診査に必要な技術	a. 一般理学的診察
		b. 発達診断学的診察
		c. 視覚検査
	B. 新生児期（1か月）、乳児期、幼児期の発育・発達評価・保健指導の要点	a. 発育
		b. 精神
		c. 運動
		d. 栄養
		e. 生活習慣・行動
		f. 予防接種
		g. 健康診査で発見されやすい異常
h. 育児相談		
18. 正常経過にある乳幼児への援助	A. 発達を促進するケア	a. 栄養
		b. 遊び
		c. 生活習慣の確立
		d. 生活リズムの確立
		e. 情緒の発達
	B. 社会性を促進するケア	a. 家庭環境との関連
		b. 生活のマナー、エチケット
		c. 自立を促す支援
		d. 円滑な母子分離
		e. 乳幼児期の人間関係形成
	C. 起こりやすい事故の予防と対策	a. 窒息
		b. 溺水
		c. 誤飲
		d. 交通事故
		e. 転落
	D. 起こりやすい疾病の予防的ケア	a. 予防接種
		b. 歯・口腔の衛生
	E. 家族へのケア	a. 育児不安
		b. 母子相互関係の成立

大項目	中項目	小項目
19. ハイリスク乳幼児への援助	A. 援助の基本	c. 親子・家族関係の促進
		a. 乳幼児の成長・発達促進
		b. 家族の子どもの受容
		c. 家族への精神的援助
		d. 社会資源の活用
	B. 精神・運動発達遅滞がある児へのケア	e. 他機関、他職種との連携
		a. 発達の促進
	C. 先天奇形・先天異常がある児へのケア	b. 治療への援助
		a. 発達の促進
	D. 低体重で出生した乳幼児へのケア	b. 外科的治療への援助
		a. 発達・発育評価
	E. 特殊な状況にある乳幼児へのケア	a. 独り親家庭
		b. 在日外国人家庭
		c. 在宅医療
		d. 虐待を受けている・受けると推測される乳幼児

【地域母子保健】

目標. 地域の母子保健を推進するための基本的理解と社会資源の活用や保健・医療・福祉施設との調整に必要な基礎的知識を問う

大項目	中項目	小項目
1. 地域母子保健の基本的知識	A. 母子保健の概念と範囲	
	B. 地域の概念	
	C. 地域の特性と母子保健	
	D. 地域母子保健活動の意義	
	E. 母子保健活動方法	

大項目	中項目	小項目
	F. 地域における女性のライフサイクルへの支援	a. 子育て支援 b. 学童期 c. 思春期 d. 更年期
2. 母子保健の現状と動向	A. 統計資料の分析	a. 母性保護統計
	B. 母子保健の諸問題の把握	a. 人口構造の変化
		b. 人口の移動と過密・過疎
		c. 疾病構造の変化
		d. 育児環境の変化
		e. 医療環境の変化
f. 国際化と国際協力		
3. 母子保健行政	A. 保健行政の仕組みと母子保健	a. 母子保健行政の進展
		b. 母子保健関係法規
		c. 国、都道府県と市町村の役割
		d. 母子保健行政の財源
	B. 母子保健計画・事業への参画（実態把握から評価まで）	a. 関係機関・関係職種との連携
		b. 各職種の役割と連絡調整
		c. 地域母子保健ニーズの把握
		d. 地域母子保健ニーズの施策化
		e. 母子保健事業計画の策定
		f. 地域での合意形成
		g. 事業計画の評価、修正、変更案の作成
		h. 事業への参画の実際
	C. 主な母子保健制度と関係法規	a. 健康診査
		b. 保健指導
		c. 予防接種
d. 障害者自立支援法		
e. 母子及び寡婦福祉法		
f. 療養援護		
g. 児童虐待の防止等に関する法律		
h. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律<DV法>		

大項目	中項目	小項目	
		i. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律	
		j. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律	
		k. 売春防止法	
	D. 主な母子保健施策	a. 健やか親子 21	
4. 地域母子保健活動の実際	A. 母子保健活動の展開の特徴	b. 次世代育成支援対策	
		a. 助産所	
		b. 診療所・病院	
		c. 市町村保健センター・母子保健センター	
	B. 母子保健活動の連携	d. 保健所	
		a. 行政との連携	
	C. 地域組織活動	b. 民間組織との連携	
		a. 組織活動の活用と活性化	
			b. 自助グループ〈セルフヘルプグループ〉・育成支援

【助産管理】

目標. 助産業務の管理および助産所の運営の基本に関する理解を問うとともに、助産師業務を評価・調整する基礎的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 助産業務管理の基本	A. 助産業務の概念	a. 医療の仕組み
		b. 助産業務の定義
		c. 法的定義
		d. 社会的定義
		e. 助産業務の目的・機能
		f. 助産師の業務範囲
	B. 助産管理の概念	a. 管理の定義
		b. 助産管理の定義
		c. 助産業務管理の特性

大項目	中項目	小項目	
		d. 組織における助産師の役割と助産管理体制	
		e. 快適な出産環境	
	C. 助産業務管理の過程	a. 管理目標の策定	
		b. 業務の分析	
		c. 業務計画の策定	
		d. 業務の評価	
	D. 助産と医療経済	a. 医療保険制度	
		b. 診療報酬	
		c. 分娩費用	
		d. 医療経営に関する会計の仕組み	
	2. 助産師及び助産業務に関連する法規と責任	A. 関係法規	a. 医療法
			b. 保健師助産師看護師法
c. 医師法			
d. 母子保健法（養育医療）			
e. 母体保護法			
f. 児童福祉法			
g. 地域保健法			
h. 戸籍法			
i. 刑法（秘密漏示の禁止、墮胎の禁止、虚偽私文書作成の禁止）			
j. 民法			
k. 労働関係法律・就業規則			
l. 個人情報保護法			
m. 生活保護法			
n. 薬事法（処方せん医薬品等取り扱い）			
o. 障害者自立支援法（育成医療）			
B. 助産師の法的義務・規制		a. 応召	
		b. 出生証明書の交付	
		c. 死産証書および死胎検案書の交付	
	d. 助産録の記載		
	e. 届出		
	f. 秘密の保持		

大項目	中項目	小項目	
3. 病院・診療所の管理・運営	A. 助産業務管理の方法	a. 人事の管理	
		b. 人材の育成	
		c. 勤務の方式	
		d. 文書・記録の管理と開示	
		e. 診療情報提供	
		f. 他部門・他機関との連携、協調	
		g. 業務の質の管理	
	B. 産科棟の管理	a. 看護体制	
		b. 多様な勤務形態	
		c. 継続的な援助システム	
		d. 母乳育児	
		e. オープンシステム	
	C. 外来の助産管理	a. 助産外来	
		b. 乳房ケア外来	
		c. 家族計画外来	
d. 女性外来			
4. 助産所の管理・運営	A. 助産所の関係法規	a. 助産所の定義	
		b. 助産所の管理者	
		c. 助産所の管理者の義務	
		d. 助産所の構造と設備	
		e. 助産所の広告	
	B. 助産所の管理・運営	a. 助産所管理の基本	
		b. 嘱託医との連携	
		c. 救急時の搬送	
		d. 環境、設備、備品	
		e. オープンシステム	
	C. 助産所経営	a. 経営診断	
		b. 母子における社会保険制度	
		c. 医療貸付制度	
	D. 出張助産	a. 自宅分娩における助産師の役割	
		b. 自宅分娩の準備	
		c. 自宅分娩時の留意事項	
	5. 助産業務と医療事故	A. 周産期における医療事故	a. 医療事故の原因
			b. 産科領域における医療事故

大項目	中項目	小項目
		c. 救急体制
		d. 法的責務
		e. 医療事故防止
		f. 医事紛争・訴訟防止
	B. 助産業務における安全対策	a. リスクマネジメント
		b. 感染予防・管理
		c. 傷害等の対応と損害賠償保険
		d. 産科医療補償制度
	C. 災害対策	a. 防災・防火訓練
		b. 初期対応
		c. 防災設備